



2014年7月アジア民族舞踊交流会 京都公演にて

ごあいさつ

一般財団法人 黛民族舞踊文化財団

理事長 加戸 守行

本年の黛民族舞踊団の活動は、年明け早々の1月12日赤坂区民センターホールでの世界舞踊祭への参加で幕を開けました。今回は、今までとは趣を異にして、楠宅憲さんの朗読に合わせて踊る「東北の物語と踊り」で、秋田の森を題材にした朗読劇ならぬ朗読舞踊で感動的な舞台となりました。

今年のアジア民族舞踊交流会は、10月に沖縄舞踊団及びインド舞踊団との組み合わせを予定しております。例年どおり群馬県太田市の小学校の児童の皆さんと舞踊体験・舞踊交流を行えますことを嬉しく思っております。

当財団の経営基盤である黛ビルも活動基盤である舞踊団も高齢化の波に直面しておりますが関係の皆様のご理解・御支援をたよりに波を乗り切ってまいりたいと考えておりますのでどうかよろしくお願いいたします。

アジア民族舞踊交流会 2014年7月16日(水)～7月22日(火)

日程	7月17日(木) アウトリーチ	10:45開演	太田市立城西小学校
	7月18日(金) 舞踊公演	14:30開演	太田市藪塚本町文化ホール(カルトピア)
	7月21日(月) シンポジウム	「アジアの舞踊」	ゲスト:諏訪春雄・司会:田口章子
		13:10開演	京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)
	舞踊公演	14:50開演	京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)

出演 マレーシア サラワク文化村民族舞踊団

サラワク文化村は、ボルネオ島に位置するマレーシア・サラワク州の文化遺産を保護するために1990年に設立された「Living Museum」です。敷地内に建てられたサラワク州の主要な民族グループの家屋の中で、伝統的な生活様式や工芸品作り、音楽、踊りなどを見て体験することができます。

毎年開催される「ワールド・ハーベスト・フェスティバル」と「レインフォレスト・ワールド・ミュージック・フェスティバル」には国内外から大勢の観光客が訪れます。

サラワク文化村民族舞踊団は同村の専属舞踊団として毎日舞踊ショーを行っているほか、国内外の公演にも参加し、サラワク州の文化を紹介しています。

団長 ジャイニ・ザイヌディン

団員 リッチー・マニン アウグスティン・ローレンス・ラドン ワン・アハマド・タミジー・ワン・ナンディ ノライニ・アブドゥラー フローレンス・シンディ・ケサティ ダリラ・ダヤナ・ミリスザナ・アハマド・ジュナイディ

韓国 尹秀美舞踊団

代表の尹秀美は韓国舞踊の創作分野の第一人者で世界的舞踊家金梅子率いる創舞会に1991年に入団して活動し、常任振付師として現在の創舞会を支える重要な役割を果たし、一方同徳女子大学舞踊科教授として在職しながら尹秀美舞踊団を率いて独創的な活動を展開し、韓国舞踊創作分野で新しい旋風を巻き起こし韓国舞踊界をより一層高める為に努力し、力を注いでいる。

尹秀美舞踊団は韓国伝統舞踊の分野、つまり巫俗(シャーマン) 仏教、民族舞踊、宮廷舞踊を深く掘り下げ研究し、これらをパターンにした現代に通ずる舞踊の創作、研究に接目している。

数多くの国内、海外公演によりその作品性、技量の高さが認められ、数多い受賞歴もあり、平成26年上半年第28回韓国舞踊祭典にて最優秀作品賞を受賞し、韓国舞踊界での栄誉を与えられた。ある舞踊評論家からは尹秀美を指し第3世代の韓国舞踊界の光彩と褒め称えている。海外のダンスフェスティバルにも招待され、日本、アメリカニューヨーク、スイスなどでも活躍した。

芸術監督 ユン・スミ 演出・指導 ソン・ユンソン

団員 ホン・ボラン イ・ジョンウン ソ・ウンジ チェ・ユンシル パク・ヒョンジョン
コ・ヒョヨン オム・ジョンナム キム・ヘリム ハン・ソンウォン

黛民族舞踊団

団長 黛 琉美 賛助出演 藤間 章吾 作 ひろよし

団員 黛 莉香 黛 真也 黛 李穂 黛 圭 伊藤 みつ子 五月女 華舟 田母神 裕子
宇野 あかり 花柳 翁麗 藤間 勘加紅 小山 羊子

スタッフ 照明:井上 正美(エクサート松崎) 音響:小林 史
舞台監督:八木 清市(ニケステージワークス) 舞台監督助手:松村 若奈

共催 一般財団法人太田市文化スポーツ振興財団
協力 京都造形芸術大学
後援 文化庁 公益社団法人日本マレーシア協会 駐日韓国大使館韓国文化院
主催 一般財団法人黛民族舞踊文化財団

7月16日(水)【海外舞踊団 来日】

- 7:40 マレーシアサラワク文化村舞踊団10名 成田着出迎える
11:00 韓国尹秀美舞踊団11名 羽田着出迎える
13:00 黛アート・サロンにて舞台スタッフ立会のもとリハーサル

勢揃いした面々総勢42名で顔合わせを行い、黛民族舞踊団の「出雲の阿国・踊り絵巻」その後、マレーシア舞踊団、韓国舞踊団と今回のリハーサルを行った。舞台転換、照明効果、衣裳替えの打合せを済ませ。無事リハーサルを終えた。

その後、明日からの公演に必要な荷物を各国入り乱れてトラックへ積み込んだ。この作業が今回初めての共同作業となった。それまではお互い遠慮し合っていたものの、言葉は伝わらなくとも、荷物を積むという目的は理解しているため和気藹々と荷物の運び出しが行われた。

13時から始めたリハーサルもひとしきりの作業が終わる頃には19時となっていた。黛ビル内の飲食店にて歓迎会と称してみんなで食事を楽しんだ。その後、海外組は赤坂のホテルへ宿泊した。

7月17日(木)【群馬県太田市へ移動・小学校訪問】

- 7:40 海外組ホテル出発 赤坂見附駅から浅草駅へ
8:40 浅草駅出発 群馬県太田駅へ
10:45 太田市立城西小学校にてアウトリーチ
13:00 太田市内の食事処にて昼食
15:30 蕨塚本町文化ホールにて場当たり
19:00 蕨塚温泉ホテルふせじまにて
太田市文化スポーツ振興財団の皆さんと懇親会

マレーシア、韓国舞踊団での学校訪問（アウトリーチ）。各国通訳の方が1名ずつおりますが20名程の団体行動となると、一人いなくなっても分からない状態です。そんな中浅草駅から出発直前の車中で、舞踊家が1名いないという事態が発生しました。慌てて改札に探しにいくハプニングが有りましたが幸い改札の所で発見し無事乗車できました。小学校でのアウトリーチでは、真夏の体育館の中で、みんな汗だくになって各国の舞踊を一緒に踊り、最後には生徒120名の踊るソーラン節の中に混じって踊るなど大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。今回のアウトリーチは、1国20分の限られた時間で、舞踊を披露し、共に踊るといったシンプルなものでした。子供達に、マレーシア、韓国に対して自由な発想を与えることが出来たと思います。



舞踊団を代表して挨拶を述べる黛莉香



小学生に振りを教えるマレーシア舞踊家



太田市立城西小学校の生徒の皆さんと舞踊家達

7月18日(金)【藪塚本町文化ホールにて公演】

9:00 藪塚本町文化ホールにてリハーサル
14:30 本番
16:30 終演
19:16 藪塚駅出発 浅草駅へ
20:55 浅草着

藪塚公演当日、黛民族舞踊団員は午前中に東京から移動しそのままリハーサルを行いました。多くの皆様にご来場いただきました。これもひとえに太田市文化スポーツ振興財団の皆様のお力添えの賜物です。

群馬県太田市の皆様とは長いお付き合いで、近年では毎年太田市内で公演をさせて頂いております。今回も満席となり、舞踊家共も一層の思いで舞台に立つ事が出来ました。

7月19日(土)【東京から京都へ移動】

9:00 海外組東京駅出発 京都駅へ
12:00 昼食を済ませ京都市内の神社、仏閣を見学
19:00 ホテルにて夕食を済ませゆっくり休む

海外の舞踊家達は、東京でゆっくりする間もなく京都へ新幹線にて移動しました。そして、ガイドさんを引き連れ京都を散策致しました。京都は、清水寺、金閣寺、平安神宮と見学しました。移動のバスの中では、これまでの疲れを癒すように眠りに着いていました。

清水寺では、沢山の観光客に混じり燦々轟々見学へ出かけ、お賽銭を投じお参りをしたり、記念撮影、土産屋巡りと楽しんでおりました。金閣寺では雨の中での見学でした。

一番人気が平安神宮でした。雨も止み、人も少ない中でお参りが出来ました。鳥居をくぐると、オーと響めきが起こり、この建物が一番日本という感じがします。と大変喜んでもらえました。ガイドさんもほっとしたのではないのでしょうか。



京都平安神宮での記念写真

7月20日(日)【京都春秋座にてリハーサル】

10:30 黛民族舞踊団員 京都入り
13:00 海外舞踊家ホテル出発、京都春秋座へ
14:00 場当り、リハーサル
17:00 リハーサル終了

舞台スタッフの方々に早朝の新幹線にて京都へ移動して頂き、9時から舞台の設営をお願いしました。

交通機関も便利になったものです。スタッフの皆様のご協力に感謝致します。

この度は、毎年利用させて頂いている東京の学習院創立百周年記念会館が改修工事の為、学習院大学名誉教授 諏訪春雄先生(当財団評議員)のもと京都造形芸術大学内にあります、京都芸術劇場春秋座にて公演を行う運びとなりました。

こちらの劇場は、本格的な歌舞伎公演も行われ、芸術監督に市川猿之助さんが就任しておられる素晴らしい劇場です。京都造形芸術大学教授 田口章子先生を筆頭に春秋座のスタッフの皆様と一丸となって公演に望ませて頂きました。田口先生ありがとうございました。

そんな中、リハーサルも順調に行われ、楽屋では海外の舞踊家達に、綾子舞の衣裳と浴衣を用意し各々に着付けを施すイベントが行われました。衣裳の的場さんは一人で20名程の着付けを快く引き受けてくださり、スタッフに恵まれていることを改めて実感致しました。



浴衣姿のマレーシア舞踊団員

7月21日(月)【京都公演本番・打上げ】

13:10 シンポジウム「アジアの舞踊」 ゲスト：諏訪春雄・司会：田口章子
14:50 京都芸術劇場 春秋座本番

京都公演では、シンポジウムを行いました。各国の団長及び通訳を交え、舞踊の要素、由来等を実演を交え解説していただきました。表現者を間近にして講義を受ける様子は、呼吸までも伝わってきます。今後このような環境を沢山提供できればと思います。



シンポジウム風景(日本)



シンポジウム風景(韓国)



シンポジウム風景(マレーシア)

80分のシンポジウムを終えいざ本番です。広々とした綺麗な舞台に舞踊家たちの舞が輝きを放ちました。マレーシアサラワク文化村民族舞踊団は、独特のテンポ感を醸し出し優雅に踊る一方、観客をステージへ招き入れ、吹き矢を実演する等ユーモア溢れる演出を施していました。韓国尹秀美舞踊団は、民族衣裳であるチマチョゴリにチャンゴ等の民族楽器を用いた群舞は、圧巻でした。底知れぬエネルギーが波打つように緩急極まる表現に釘付けです。群舞のみならず独舞では、全身そしてつま先に表情が現れる研澄まされたものでした。黛民族舞踊団は「出雲の阿国・踊り絵巻」と題して阿国と由来のある京都にてこのような公演が出来る喜びを胸に、8曲続けての物語仕立てで舞上げました。

尚、当財団理事長加戸守行も遠方より駆けつけてくださり、激励の言葉を頂きました。沢山のお客様と関係者の皆様に支えられ、アジア民族舞踊文化交流会を成功の内に幕を閉じた事をうれしく思います。また一つ足跡を残す事が出来ました。終演後は、舞台裏にて、出演者を始め諸先生方を囲い公演の成功を祝いました。



オランウルの踊り(マレーシア)

7月22日(火)【マレーシア、韓国舞踊団 帰国】

6:45 京都駅発 関西国際空港へ
9:00 搭乗口へ向かう舞踊家達を見送る

海外組の帰国の日となりました。早朝に京都を出発し関西国際空港へ。17日の浅草駅で改札まで走った事が遥か昔のように感じるほどでした。空港では、皆口々に寂しいと言いながら、涙のお別れとなりました。

今回の舞踊団員の中には、宗教上の理由でお肉が食せない方もおりました。交流会を通じて学ぶことは沢山あります。サラワク文化村民族舞踊団、尹秀美舞踊団共に素晴らし舞踊を披露して下さいました。もっと多くの方に見て欲しい。おどりは楽しいよ。という思いはいつの日も変わりません。今回の交流を基にサラワク文化村民族舞踊団は2015年に尹秀美舞踊団を、2016年に黛民族舞踊団を招聘したいとの言葉を頂きました。交流会が新たな交流の架け橋となったようで喜ばしい限りです。

アジア民族舞踊交流会そして黛民族舞踊団を通じて民族舞踊の継承、発展に貢献出来ますようこれからも邁進いたす所存です。

ご協力頂きました皆様、御来場下さりました皆様、そして応援して下さいる皆様に感謝申し上げます。



お別れの一面



関西国際空港にてマレーシア舞踊団と黛莉香

2014年アジア民族舞踊交流会 京都公演写真 (プログラム順)

第1部 (京都公演写真) 撮影：清水俊洋



1. 歓迎の踊り マレーシア



2. 太平舞(テピョンム) 韓国



3. ンガジャッ・プア・クンプ(イバンの踊り) マレーシア



4. 珍島太鼓舞(チンドプクチュム) 韓国



5. レジャン・ペウー(ビダユの踊り) マレーシア



6. 春雪(チュンソル) 韓国



7. アル・アル(ムラナウの踊り) マレーシア



8. 息(スム)(散調(サンジョ)) 韓国



10. 井邑ソル杖鼓舞(チョンウップソルチャンゴチュム) 韓国



9. カンジェツ・ンゲレプツ(オランウルの踊り) マレーシア



11. スランパン・バル(マレー人の踊り) マレーシア

第2部 出雲の阿国・踊り絵巻 黛民族舞踊団 (京都公演写真) 撮影：清水俊洋



1. 花念仏踊り



2. 想夫恋



3. しのはら踊り



4. 巫女舞



5. やや子踊り



6. 小原木・綾子舞



7. からす三番



8. 祝い舞(花田植と豊年舞)



カーテンコール

黛民族舞踊団 自主公演「コラボデ黛イン黛スタジオ」2014年10月26日(日)

第1回 民族舞踊と朗読【斎藤隆介原作「三コ」】(入場無料)

振付・演出：黛 琉美

出演 舞踊：黛民族舞踊団

(黛 真也 黛 李穂 黛 圭 伊藤 みつ子 五月女 華舟)

朗読：楠 定憲 (劇団あとむ) 小山 羊子 (朗読の会りんどう)

企画・構成：平出 圭

今回は、黛圭こと平出圭の発案により、赤坂の黛アートサロンにて朗読を交えた舞踊公演を行いました。ゲストに楠定憲氏、小山羊子氏を招き昼と夜の2回公演を行いました。秋田を舞台にした「三コ」という物語の中に秋田民謡たんと節、津軽じょんがら節、宮沢賢治が岩手県に古くから伝わる民俗芸能原体剣舞を見て書き上げた詩歌である原体剣舞連(振付故黛節子)の3曲を要所要所に盛り込んだ作品となりました。お客様の評判もよく、素敵な舞台に出来上がりました。今後とも研究を重ね、お芝居の様な場面が作り出せたら良いと思いました。物語の中に踊りがどれだけ入り込んでいけるかが必要だと思いました。

コラボデ黛 in 黛スタジオ vol.1

民族舞踊と朗読のタベ

民族舞踊が朗読とコラボすると・・・こんなにステキ♪

振付・演出 黛 琉美

2014年10月26日(日)

マチネ 午後2時 開演

ソワレ 午後6時 開演

(開場は開演30分前 各回定員50名)

事前申込を希望される方は黛へお電話を

会場 黛スタジオ(黛アートサロン)

入場無料

演目 「たんと節」「津軽じょんがら」 ほか

出演 黛民族舞踊団 黛 李穂 黛 圭
伊藤 みつ子 五月女 華舟

楠 定憲 (劇団あとむ)
小山 羊子 (朗読の会りんどう)

企画・構成 平出 圭

主催 黛民族舞踊団 (03-3583-3633)

2015年世界舞踊祭に出演 2015年1月12日 赤坂区民センター 区民ホール

世界舞踊祭は、国連やオリンピックにならない、世界200カ国のダンスを上演するボランティア運営(社会貢献事業)のフェスティバルです。

主催：運動記号研究会

出演15団体内民族舞踊団：タヒチ民族舞踊(テ・ティアラ・ノ・タヒチ)

中国舞踊(鳳仙功舞踊研究所)

ネパール密教修行舞チャリアとネパール民族舞踊(岡本マルヲ有子)

エチオピア民族舞踊(モカ・エチオピア)

京劇(新潮劇団)

黛民族舞踊団(黛 真也 黛 李穂 黛 圭 伊藤 みつ子 朗読：楠 定憲 小山 羊子)

世界舞踊祭では、黛は「東北の物語と踊り」と題して昨年10月に行った朗読とのコラボレーションを披露しました。この作品は40分ほどですが、通常の舞踊公演と違い、朗読が踊りを繋いでいくため途切れることなく最後まで食入るように鑑賞できます。朗読の陰陽に引き込まれ、すうっと曲がかかり踊り手が舞い、また自然と台詞が聞こえてくる。現実と夢の世界を行き来する様な感覚を覚えました。初めてのコラボレーション企画でしたが、これからも知恵をだしあい、いろんなことに挑戦をしながら続けていこうと思います。



朗読：楠 定憲



秋田民謡たんと節



朗読風景



津軽じょんがら節



朗読：小山 羊子



朗読風景



原体剣舞連

世界の踊りを楽しもう！（黛アート・サロン）

世界舞踊祭の仲間たちによるフォークダンス教えあい・踊りあいの会を黛アート・サロンにて行っております。

2014年 4月13日（日） 第8回世界の踊りを楽しもう 13時30分～16時

- ・マレーシア舞踊「エンダン」 指導：ムカール・ブダヤ（マレーシア民族舞踊団）
- ・「牛深ハイヤ節」 指導：黛民族舞踊団

2014年 6月 8日（日） 第9回世界の踊りを楽しもう 13時30分～16時

- ・南インド・タミル地方のフォークダンス「オイラッタム」 指導：ヌリッティアンジャリ舞踊団
- ・前回のおさらい会「エンダン」「牛深ハイヤ節」 指導：ムカール・ブダヤ、黛民族舞踊団

2014年11月16日（日） 第10回世界の踊りを楽しもう 13時30分～16時

- ・スマトラ・バタックの踊り 指導：デヴィ・シラバル宮下

2014年12月21日（日） 第11回世界の踊りを楽しもう 13時30分～16時

- ・ギリシャ舞踊 講師：鎌倉博史
- ・おどり忘年会

2015年 3月21日（土） 第12回世界の踊りを楽しもう 13時30分～16時

- ・北インドのリズム・ダンス「バングラ」 指導：ヌリッティアンジャリ舞踊団

2014年世界の踊りを楽しもうレポート（文責 黒川 妙子 2014年12月22日）

・第10回 11月16日 「舞踊の宝庫・インドネシアから」

バリ舞踊やジャワ舞踊といった古典舞踊の他に、舞踊の宝庫インドネシア各地の民族舞踊を紹介している舞踊家のデヴィ・シラバル宮下さん（インドネシア舞踊ヌサンタラ創立メンバー）ら6人のダンサーを迎え、インドネシアの豊かな芸能文化を豪華に披露してもらった。「ヌサンタラ」とはインドネシアではインドネシア全土の島嶼群を意味するが、その中でもスマトラ島のバタック民族の楽しいおどりを教えてもらい、皆で楽しくおどった。バリ舞踊やジャワ舞踊などを鑑賞できる機会は徐々に増えてきているが、民族舞踊の多様性やその魅力に接することは少なく、貴重な講習をしてもらった。おどりながらインドネシア各地に住む民族の文化に、心をはせたにぎやかで楽しい会となった。

・第11回 12月21日 「ギリシャ舞踊を楽しもう」+おどり忘年会

ギリシア研究会パレアを主宰する鎌倉博史さんに、ギリシャの文化背景についてのお話をしていただき、手をつなぎ輪になってギリシャ民族舞踊を講習してもらった。

東欧の民族舞踊に関心をよせる人は多いが、ギリシャ舞踊にとりくむ人はなかなかいないので、鎌倉さんはギリシャ語で仲間の意味の「パレア」というグループを作って活動されている。ギリシャはトルコによる400年間もの支配を経て、1923年に独立した国であるため、音楽にもトルコの影響が浸透している。独立時の民族大移動のため、アテネやテサロニケをのぞくと、ギリシャ人はシカゴに30万人、メルボルンに20万人が移民しているなど、苦難の近代史を経てきている。

ゆったりした国民性がおどりににもよくあらわれているが、自殺率も過去には世界でも最低の水準だったということからも、人々はおどりうたい楽しみながらストレスをじょうずに発散させている。近代になってギリシャ全体のナショナルダンスともいわれるようなダンスが整っていったが、それらをいくつか講習していただき、楽しく練習した。ゼイベキコス（4分の9拍子）、カラマティアノス（8分の7拍子）、ツァミコス（男性の勇壮なおどり）、ハサピコス（肉やのギルドからはじまり船乗りにもひろがったおどり）、ハサポセルヴィコスなどを紹介していただいた。



教えあい風景



第11回 12月21日「ギリシャ舞踊を楽しもう」+おどり忘年会にて

2015年（平成27年度）黛民族舞踊団活動予定

世界の踊りを楽しもう！フォークダンス教えあい・踊りあいの会

- 6月21日（日） 13時30分～16時 会場：黛アート・サロン
「ジプシーの娘 ロシアのツイガーノチカ」 指導：ロシア親子の会カリнка
- 9月 6日（日） 13時30分～16時 会場：黛アート・サロン
「南インド・ケララのティルワーティラカリ」 指導：プラクリティ
- 12月13日（日） 13時30分～16時 会場：黛アート・サロン
詳細未定

10月アジア民族舞踊交流会

公演予定

- 舞踊公演……………10月15日（木） 調整中
- アウトリーチ……………10月16日（金） 群馬県太田市市内小学校：調整中
- 舞踊公演……………10月17日（土） 群馬県太田市藪塚本町文化ホール（カルトピア）
- シンポジウム……………10月18日（日） 学習院創立記念百周年記念会館
- 舞踊公演……………10月18日（日） 学習院創立記念百周年記念会館
- 舞踊公演……………10月19日（月） 調整中

予定共演団

インド民族舞踊団「シャクティ」（ホームページ <http://www.sakthifolk.org>）

インド社会の底辺にいる農村の女性たちの能力をひきだし、地域のリーダーとして活動できる人材を育てるために、1990年にシスターチャンドラが設立した団体が「シャクティ」である。シャクティの活動の中心は舞踊や歌であり、伝統的な民族舞踊をもとにチャンドラさんが舞台用に演出し、さらに現代の女性たちの声を代弁する手段として歌やおどりを通じて、多くの女性や子どもたちの支援を行っている。

シャクティの舞踊公演は、地元のタミルナードゥ州のみならず、インド全土で人気を博しており、2月末には首都のデリー市での公演が予定されているとのことだった。衣装も美しく、おどるメンバーは20歳前後の女性たち約10人で、タミルナードゥ各地の伝統舞踊を主におどる。過去にインドの外では、南アフリカ、日本（2008、2009）、アメリカ（2011）などでの公演がある。シスターチャンドラは2008年に日本の社会貢献支援財団から社会貢献賞を授与されている。

琉球舞踊 重踊流（ホームページ choyoryu.com）

「琉球舞踊重踊流」は、志田房子（国指定無形文化財総合認定）を初代宗家とし、琉球舞踊の継承・創作活動をおこなっています。

『重踊流』とは、志田房子が3歳で玉城盛重師の門をたたき、その後近代琉球芸能の中興の祖とも称せられる先生方から指導頂いたき今日まで歩んできた「積み重なる芸恩」と「踊り重ねる心」を著わしています。

琉球舞踊を愛してくださり、見守り続けてくださる皆様により良い舞台をお届けするために、重踊流は伝統の継承と創作に取り組み、精進研鑽を重ねてまいります。

黛民族舞踊団の活動について 黛 莉香こと事務局長 小田部 綾子

今年の交流会は、10月に行うことに致しました。昨年は、マレーシアと韓国今年は、インドと沖縄の舞踊をご覧頂きたく招聘致します。黛民族舞踊文化財団も設立から30年を迎える事となりました。設立当初に比べると、世の中ずいぶん便利になりました。どんなに便利になろうとも舞踊は、人から人へ受け継がなければならないと感じております。後継者不足に悩まされますが、多くの方々に黛民族舞踊団の存在を知って頂き、踊りをご覧頂く。そして舞踊、民族舞踊に興味を持って頂けるよう、今年もはりきってまいります。

黛アート・サロンにての自主企画も計画しております。今後とも、ご理解・御支援のほどよろしくお願い致します。

尚、10月の公演に着きましては現在調整中の箇所もあります。賛助会員をはじめ皆様へは、改めてお知らせ致しますので、もう暫くお待ち下さい。当財団のホームページからのご案内致しますので、どうぞご利用下さい。



平成26年7月21日京都春秋座公演にて終演後の祝賀会

一般財団法人 黛民族舞踊文化財団のあらまし

一般財団法人黛民族舞踊文化財団は、我が国伝統の民族舞踊を舞台芸術として確立し、その普及向上を図るとともに国際文化交流を行うことを目的として、昭和61年3月文部大臣から設立を許可された法人です。

財団設立後は、(1) 民族舞踊普及向上のための中央における公演をはじめ、地方巡業公演を活発に行ってひろく一般にこれを紹介し、また研究成果の発表会等を開催し、(2) 後継者の育成を目的として民族舞踊の研究者(音楽、振付けを含む)、舞踊家のための研究会、研修会等を開催して創造活動を奨励すると共に技能の向上を図り、(3) 日本各地および中国・韓国・東南アジア諸国の民族芸能を取材し、その研究を行うと同時に収集した資料を整理保存して一般にこれを提供し、将来は資料館を設立して一般の利用に供することを計画しています。また、(4) 世界各国にはそれぞれ民族舞踊団が国家の庇護のもとに活動していますが、これら舞踊団との交流や、中国・韓国・東南アジア諸国の民俗芸能伝承者たちとの交流等、幅ひろい国際交流を推進して相互の連携と研鑽につとめ、(5) 民族舞踊、民族芸能に関する資料および研究成果等の出版物を刊行して、民族舞踊に対する理解を深める目的達成のため、年次を追って事業を充実していきたいと考えております。しかしながら、事業を発展充実させていくためには、何と申しましても経済的基盤を確立する必要があることを痛感いたしております。当財団が、真にわが国を代表する民族舞踊の振興団体として育ってまいりますよう、財団の事業目的をご理解くださり、各界の方々の御支援を心からお願い申し上げる次第です。つきましては、当財団には賛助会員規定を設けておりますので、皆様にはぜひ賛助会員として、会費により御支援を賜りたく、お願い申し上げる次第です。

黛民族舞踊文化財団賛助会員規程

- 一、賛助会員とは、この法人の主旨目的に賛同して入会くださった個人・法人(団体)の方々の名称です。
- 二、会費寄付の内容は下記の通りです(但し、年間会費として扱わせていただきます。)

ア、個人の場合	個人会員	五千円以上
	特別個人会員	十万円以上
イ、法人の場合	法人(団体)会員	十万円以上
	特別法人(団体)会員	百万円以上

三、賛助会員の特典

- ア、特別会員(個人・法人)
 1. 年一回以上公演全の切符御一名様御招待
 2. 「財団の宴」など種々の行事に御招待
- イ、会員(個人・法人)
 1. 年一回以上公演全の切符御一名様御招待

なお、御入会くださいます方は、賛助会員会費寄付申込書を御記入の上、御返送いただきたく存じます。賛助会員会費寄付申込書は、当財団宛てに御請求くださいませ。領収書は銀行にお振り込み下さいました後、お送り申し上げます。

【平成26年度賛助会費員(順不動)】

石上 春江	岩瀬 敬一郎	奥山 章雄	加戸 守行	小松 啓介	諏訪 春雄	武田 悦子	花柳 衛吉
花柳 壽輔	黛 圭	黛 智英	黛 莉香	黛 琉美	水落 潔	山崎 邦昭	山下 羊子

民族舞踊文化 No. 27

2015年5月8日発行

発行人 加戸 守行

編集 黛民族舞踊文化財団 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂3-10-3 黛ビル4F TEL 03-3583-3633(代) FAX 03-3583-3639

一般財団法人黛民族舞踊文化財団

ホームページ <http://www.mayuzumi.or.jp>

THE MAYUZUMI FOUNDATION FOR TRADITIONAL FOLK DANCE

MAYUZUMI BLD 4F, 3-10-3, AKASAKA, MINATOKU, TOKYO